

(注意点)

基本構想策定委員会側委員の発言は、策定委員会及び各部会でこれまで積み重ねた議論に基づく委員個人の見解であり、最終的な素案は策定委員会で協議の上、決定される予定です。

第5回 市民文化ホール建設基本構想（素案）に係る小委員会 議事録

平成22年6月25日 10:00～ 本庁5階第1委員会室

(□策定委員会側委員 ■議会側委員)

基本構想構想（素案）全般に関する意見交換

- : 場所など具体的内容が決まっていない段階で、設計委託料の9月補正はどうするのか。
- : 6月市議会の市長答弁のとおり、適切な時期に合併特例債の活用を考慮しながら判断したい。
- : 建設予定地について、どの辺りか考えがあれば教えてほしい。
- : ここという場所は決まっていない。IC付近に絞っては考えている。個人的な考えとしては、例えば、ICを降りて右側など。場所が決まらなると、運営について検討できないと考える。
- : 場所について具体的な箇所がでたが、策定委員会側の総意として受け取ってよいのか。
- : 私としては、(あくまでも個人の考えとして)明言すればというのであれば、明言したい。
- : 三島会館の大ホールが使用中止で、三島会館で建替えの噂がある。委員会として川之江、三島両館が使えなくなるから建替えという本来のスタンスを明確にして、適切な場所について段階をふんでほしい。噂が先行してしまう。
- : 策定委員から場所について具体的に示してはいない。答申で出さないと誰が決めたのかという話になるのではないか。
- : 具体的な場所について意見がでたが、議会側が了承したのではないことを確認したい。
- : 場所は当委員会で決めるものではない。提案の段階ではIC付近という表現でよいのではないか。「ここ」というのは難しいのではないか。
- : 個人的な考えとしては、ジャスコの駐車場の可能性もある。最終決定ではない。ただ、絞り込まないとタウンコメントができないのでは。
- : 策定委員会は場所を決めないという約束であった。今の発言は策定委員会での協議内容を聞いただけである。この小委員会でも策定委員会でも決めないのが筋。その点をはっきりしておく必要がある。
- : 策定委員会は諮問の意味が大きい。報告となるが、市長から言われた「場所は決めない」という範囲で基本構想を協議してきた。用地についてはこ

こが良いとは言っていない。条件から選択肢を示しただけである。

- : IC 付近は出入りが危険で反対である。村松地区の水害の可能性もある。利害がからみ半年では決められないのではないかと。ジャスコ駐車場も地権者が多く困難ではないか。アンケートでは用地費に 20 億かかるのであればホールは既存地に建替えてほしいという意見もある。説得が必要である。用地決定には時間をかけてほしい。
- : スケジュールを逆算した場合、用地取得はいつまでなのか。地盤や基礎などは場所が決まらなないと設計できないのではないかと。用地取得の具体的なスケジュールはどうか。
- : 設計でどこまで決まっていけないか分からないが、細かい設計になると用地が決まっていけないと考える。設計が用地取得とどこまで並行して行えるか分からないが、用地確保が設計より先である。
- : 用地が決まらなないと設計は難しいのではないかと。
- : 具体的に何月までと言うことができないが、設計に 1 年以上は必要と考えており、用地について交渉していく必要があると考える。
- : 実施設計に策定委員会の内容を盛り込むことができるのか。最終はいつになるのか？
- : 素案を受け取った時点で、最大限努力する。
- : 策定委員会が決められない中で、小委員会で決めることは無理がある。
- : スケジュールとしてどこまで用地取得できるのか知りたかった。23 年度末でもよいのか。
- : 具体的にいつまでとは言えない。
- : 小委員会は解散するが、建設委員会はいつ設置するのか。
- : 建設委員会はコンサルが決まった後ではないかと。
- : 設計士を決めるときに建設委員会が入ることもあるのでは。
- : プロポーザルの時には建設委員会が立ち上がっていないからではないかと。ここでの意見を基本構想に盛り込んでもらいたい。
- : 複数の候補地案に対し柔軟なプロポーザルをしてもらうこともある。実施設計レベルの議論も頭に入れて行うが、核となる施設は変わらないが、候補地の用地の広さによっては併設施設がどのくらい入れられるかわってくる。大ホールの規模はまだ詰める必要があるが、それ以外は基本的に変わらない。核となる部分は設計を先に進めていくことはできる。我々は市民委員会であり、多くの意見を取りまとめる役割である。建設委員会は専門家が意見を集約するものである。
- : 建設予定地は重要な問題である。基本構想に運営のビジョンを入れてもらいたい。文化施設では黒字経営が

難しいのは理解している。財源の継続性、収支計画をどのようにするのか示してほしい。

現在の3館の収支について示してほしい。

：平成21年度の人件費を含んだ決算見込み額の運営費について、川之江会館は約2,400万円、三島会館は約2,100万円、土居文化会館は約5,100万円である。収入については分からない。

：人件費について、専門のスタッフをどのくらい置けるかになる。

：都城市の文化ホールは指定管理費として市から3億円支出している。自主事業収入から運営費をまかなうのは難しい。総合的にみて、当市も億単位の人件費がかかるのではないか。ただ、市も次の指定管理の更新時には、半額に下げたいと考えているらしい。

：施設の維持管理と事業費は分けて考えるべき。直営か民間かどうかは今後、建設委員会で協議しなければならない。

：人口推移や交流人口なども含めて、ホールの収容人数についてどのような協議をしたのか過程を教えてください。1,000から1,500席の幅をどうするのか。

：自主事業の採算ベースでは1,000人以上は必要である。策定委員会でももう一度協議したい。交流も考えた上で絞り込みたい。1,500席は多いとも考える。

：基本構想策定協議中に建設予定地により、ホールの内容が変わると考えたのか。

：施設のイメージとして平屋のように横に広いイメージを持っている。1階のどこからでも入れるようなものである。両会館の現在の敷地では困難と考える。

：合併10年で合併算定替が終了し、段階的に地方交付税が減額されるため、財政は厳しくなる。維持管理費もよく考える必要がある。消防署や障がい者施設などほかにも必要な事業がある。将来の財政計画も考えないと、厳しい財政状況になる。

：この素案（案）では建設候補地はIC付近、三島会館周辺と聞いたが、他の候補地があれば検討してもらえるのか。

：今後設立予定の建設委員会で検討できる。

：実際はアクセス悪い場所もあったりして、デメリットまで考えられていない。もっと魅力的な候補地があれば、アドバイスをいただきたいと考えている。

：大ホールの収容人数は議論的になる。市民への説得力が必要である。説得力のある理由としてデータを持たなければならない。チケット代からの

算出やホールの稼働率についてどのようなデータを示すのか。

- : 一般的に 1,200~1,300 席といわれている。どのような特徴を持たすのか考えなければならない。特定用途に絞ると 1,000 席でも良いが、1,000 席では特定用途にしか使えないという評判が立つため、稼働率は良くなる。特定用途と多目的用途は両輪である。
- : 他のホールの実績から考えなければならない。1,300 席以上になると運営が大変になる。
- : 小ホールについて、毎日稼働するというデータがあれば。
- : 近くに小ホールは無いためよく利用されると思う。1,000 席以上の大ホールについても、バレエの発表会などの市民主催のイベントでは現状でも三島会館に入りきらないものもある。
- : ステージでのリハーサルなどでホールの稼働率を上げる事ができるのではないか。
- : 市内 3 館の実績でどのようなイベントが来るのか分かるのではなかい。
- : 大ホールは古いため、こちらでイベントをしたいができないものもあり、実績では分からないものもあるのではないか。
- : 逆に、今まで呼べていない、こういうイベントも呼べるようになるというものの具体例がほしい。
- : 現在、土居文化会館ではサポーター制度を取り入れて運営している。38 人が登録し、熱心に活動している。サポーター用のロッカーを整備してほしい。500 人のキャパでは有名な人の催しはできない。二流、三流では客席が埋まらない。
- : 誰がサポーターを取りまとめているのか。
- : グループ内のチーフが交代でやっている。ボランティアで活動している。
- : 民間団体が行政と協力して事業の企画も行ってた。新ホールでは友の会やサポーター制度を作るつもりである。民間団体も入った企画運営を考えている。
- : ボランティアは専門的なこともするのか。維持管理費 5,100 万円には専門家の費用は含まれるのか。
- : 土居文化会館はほとんど職員が対応している。
- : (土居文化会館という) いい例がある。
- : 根本的に建設に反対する人もいる。住民への説明の時に、なぜ必要なのかという意見が出るかもしれない。反対の市民運動があるかもしれない。
- : 市民へ説明しなければならない。議事録を議員全員に見てもらい各会派で話し合えるようにと議長に相談した。
- : 財政負担は市民へかかる。市民を大事にしないと。たたき台として IC 付近

なら用地費がどれだけ必要なのかや、三島会館跡地なら解体費用などを含む事業概要を2つの候補地で概略を示すのも方法ではないか。市長の考えはどうか。合併時にも庁舎の位置について駆け引きがあった。同じ事が起こるのではないか。

- : 策定委員会は当初に与えられた役割の中で建設候補地を示している。具体的な内容については建設委員会で候補地を協議した段階で市民に意見を求めてはどうか。用地が決まらないと判断できないのではないか。建設委員会で具体的に場所を決めた上で市民の意見を聞くほうが良いのではないか。
- : それはタウンコメントの時期をずらすということなのか。
- : 現状でタウンコメントを取ると両極端な意見になるのではないか。
- : 予算提案で庁舎を後回しにし、ホール建設基金について議会が賛成したことを前提にして、策定委員会は基本構想策定作業を進めてもらってきた。場所や内容については全員が納得できることは難しいため、最大公約数で決めていけないといけないのではないか。議員はホール建設基金については賛成した、その後の状況で意見が変わるのは仕方ないかもしれないが。施設内容について、それぞれの専門施設が一番良いのはわかるが、難しい。「能」は観客席の配置をコの字を縦にした配置であるが、文化協会など専門の方の意見をどのように聞き、策定委員会で詳細な施設内容まで踏み込んでいるのか、話し合った過程を知りたい。
- : 文化協会のアンケートでは能舞台があればという意見が合った。他の施設では稼動式にしていた。平台を使えば様々なジャンルのものに対応できるのではないか。
- : 音楽だけではなく、歌舞伎やミュージカル、オペラなど対応できるよう考えている。能舞台は特殊なので、設計段階で小ホールに取り組むか考えたい。座席の配置についても建設委員会で決めていけるのではないか。今までにないものを備えないと新しく作る意味はないと思う。柔軟に対応したい。
- : 今後、基本構想を受け取った後、市はスタッフの充実など、庁内でどのようなプロジェクト体制を考えているのか。せっかく基本構想を策定してもらうのだから、その受け皿としてしっかりした体制をつくってもらいたい。
- : 具体的に決めていないが、建築部局の職員に相談などしており、今後、チームをつくったり、適宜相談したり連携して進めて行きたい。7月にタウンコメント、8月基本構想策定を予定しており、対応できる体制づくりを検討したい。
- : 意見の概要について、5回分をまとめて議員全員に配布してはどうか。
- : 意見の概要の配布についてはどうか。名前が出るのに問題があるのか。

- : 意見の概要は、意見を出しているだけなので、議事録はないのか。
- : 策定委員に誹謗中傷がないようにとの配慮で意見の概要を作成している。小委員会でいただいた意見を策定委員会に持ち帰り、基本構想を修正したいと考えている。
- : 個人名を出す必要はないのではないか。
- : ここでの発言が策定委員会としての最終の回答ではなく、基本構想の修正が最終の回答ではないか。
- : 意見と質疑があったが、答えたことについて記述してほしい。名前を出すことに市は支障があるのか。
- : 支障はない。
- : 前提として意見に対する回答は基本構想の修正であるが、各委員に了承いただけるのであれば、議事録を出す事ができる。
- : 小委員会のやり取りを示す方が、タウンコメントで意見を求めやすいのではないか。
- : 小委員会での意見の取扱いについては、策定委員会へ持ち帰り協議をするという前提はしっかり押えないといけない。
- : 議事録を作成する。
- : タウンコメントが時期尚早ではないかとの意見があったが、策定委員会としては基本構想案についての意見を求めたいと思う。場所についての意見をいただくことで次の段階へ進めると考える。場所は未定だが、現段階でタウンコメントで意見をいただきたい。市民から意見をいただいて、市長が判断することになると思う。
- : 四国中央市はタウンコメントの方法が下手である。新聞折込に入れるなど方法を考えてほしい。
- : 市報だけでなく、新聞折込も含めて効果的な方法を検討したい。
- : 場所については、設計士が入らないと決められないのではないかと。早く設計士を決めないと、用地選定の要素も出せない。並行して進めることも可能であり、委員会として現段階でのタウンコメントが必要である。
- : 90%以上の具体的なことを分からない市民に意見を聞くと、文化ホールは必要ないという意見もあると思う。建設ありきを導いた上でないと難しいのではないかと。
- : 慎重にしたい。
- : 個人意見と会派の意見があったが、どの意見を採用するかは策定委員会に任せるのか。また小委員会の意見を最大公約数的な意見にまとめ、整理するのか、どちらがよいのか。
- : 策定委員会で消化し、提言いただきたい。

- : 策定委員のみなさんには、ボランティアでよく基本構想を協議いただいた。完成後も見守ってほしい。
- : タウンコメントについて、これまで個々に聞くイメージがあったが、文化団体、幼稚園などにも聞いてはどうか。個人と団体の2本立てでどうか。
- : タウンコメントは従来どおりであるが、団体についてはその方法を考えたい。
- : 小委員会では委員の皆さんから貴重な意見をいただいた。今後は策定委員に任せたい。
- : 策定委員会の仕事はまだ途中だが、いただいた意見を基本構想に反映していきたい。

閉 会